

平成25年(2013年) 年間概況

平成25年度 年間入域観光客数(推計)	942,964人	
対前年比	132.24%	713,058人
平成25年度 年間観光消費額(推計)	580.1億円	
対前年比	130.98%	442.9億円

国籍別入域観光客数(年間総計)		
日本	853,137人	
前年同月	対前年同月比	
650,441人	131.2%	
外国	89,827人	
前年同月	対前年同月比	
62,617	143.45%	
国籍	入域観光客数	前年同月比
台湾	83,767	142.9%
香港	1,295	173.8%
上海	0	-
中国(上記以外)	52	106.1%
韓国	525	120.4%
アジア(上記以外)	2,935	878.7%
その他諸外国	1,253	51.4%

※外国人については、入国管理局の資料に基づく

島別入域観光客数(年間総計)		
石垣市		
島名	観光客数	対前年比
石垣島	937,024人	132.2%
竹富町		
島名	観光客数	対前年比
竹富島	457,207人	117.6%
西表	290,237人	120.6%
東表	56,164人	126.4%
小浜島	182,627人	129.6%
黒島	28,216人	95.6%
波照間島	29,725人	114.9%
鳩間島	7,810人	132.1%
新城島	3,190人	141.9%
加屋真島	1,944人	81.2%
計	1,057,120人	120.0%
与那国町		
島名	観光客数	対前年比
与那国島	28,359人	88.7%

八重山入域観光客数統計概況(推計)

2013年入域観光客数 概況と見通し 平成26年2月5日発表

平成25年(2013年)の八重山入域観光客数は、対前年比132.2%(229,906人増)の942,964人。

[全体]

- 3月7日に新石垣空港が開港。その後、単月の入域観光客数の記録を年間を通して更新し続けるなど、その効果が顕著に現れ、平成19年の787千人を大きく上回り、過去最高の入域観光客数・観光消費額を記録した。
- トップシーズン(7月~9月)の3か月間は八重山観光史上初めて、単月の入域観光客数が10万人を突破。
- 入域観光客が増加した主因として、県外直行便が好調であったことが挙げられる。この結果は、八重山が(那覇などと並び)沖縄旅行の目的地として、多くの観光客に定着しつつある結果だと考えられる。

[国内]

- 7月にスカイマーク、9月にLCCピーチアビエーションなど新規航空会社が次々と参入。航空運賃の低価格化が実現し、観光客にとっては、より選択し易い観光地になった。
- 既存路線の増強等も実現され、八重山と国内主要都市が直接太く強く結ばれた。羽田、関空、名古屋と好調であったが、同様に直行便が就航している成田、神戸、福岡については他地域と比べ弱かった。

[海外]

- 新空港の開港日には、韓国から初めてアジアナ航空、大韓航空のチャーター便が就航した。また、マンダリン航空やトランスアジア航空のチャーター便も定期化への動きが活発化するなど、海外路線拡充への道が開けた。
- クルーズ船は65回寄港し(日本国籍含む)、乗客数で過去最高を記録した。翌年はそれを上回る75回の寄港が予定されており、より多くの外国人観光客が訪れると予想される。

[その他]

- 翌年(平成26年)は新空港が開港し、航空会社や各路線等が現体制となって初めて、年間を通しての統計となる。また、クルーズ船やチャーター便についても、より多くの寄港・就航が予定されていることなどから、今年以上の観光客が訪れることが期待できる。

路線別・3旬別入域観光客数推計

路線	平成24年		平成25年		比較(H25/H24)			
	観光客数	構成比	観光客数	構成比	増減数	対前年比		
国内路線	空路	東京(羽田、成田)	54,383	7.6%	126,958	13.5%	72,575	233.5%
		大阪(関空)	42,658	6.0%	90,040	9.5%	47,383	211.1%
		神戸	0	0.0%	12,094	1.3%	12,094	12,094皆増
		名古屋(中部)	7,198	1.0%	35,675	3.8%	28,477	495.6%
		福岡	7,587	1.1%	8,983	1.0%	1,396	118.4%
	計	111,826	15.7%	273,751	29.0%	161,925	244.8%	
	県内便	那覇	504,238	70.7%	542,391	57.5%	38,153	107.6%
		宮古	24,345	3.4%	29,425	3.1%	5,081	120.9%
		計	528,582	74.1%	571,816	60.6%	43,234	108.2%
		チャーター便	4,397	0.6%	1,673	0.2%	(2,724)	38.0%
海路	クルーズ船	644,805	90.4%	847,240	89.8%	202,435	131.4%	
計	646,574	90.6%	849,742	90.1%	203,168	131.4%		
海外路線	空路	チャーター便	5,555	0.8%	7,777	0.8%	2,222	140.0%
	海路	クルーズ船	61,403	8.6%	85,445	9.1%	24,042	139.2%
計	66,958	9.4%	93,222	9.9%	26,264	139.2%		
空路計(国内路線+海外路線)	650,360	91.1%	855,017	90.7%	204,657	131.5%		
海路計(国内路線+海外路線)	63,172	8.9%	87,947	9.3%	24,775	139.2%		
月合計	713,532	100.0%	942,964	100.0%	229,432	132.2%		

年間入域観光客数・消費額推移

暦年	入域観光客数	観光消費額
平成元年(1989年)	301,592人	210億円
平成2年(1990年)	327,104人	229億円
平成3年(1991年)	401,376人	281億円
平成4年(1992年)	426,242人	298億円
平成5年(1993年)	425,925人	298億円
平成6年(1994年)	432,010人	346億円
平成7年(1995年)	442,140人	354億円
平成8年(1996年)	447,886人	448億円
平成9年(1997年)	524,824人	500億円
平成10年(1998年)	517,908人	515億円
平成11年(1999年)	602,027人	552億円
平成12年(2000年)	599,343人	508億円
平成13年(2001年)	578,978人	511億円
平成14年(2002年)	613,362人	440億円
平成15年(2003年)	695,681人	501億円
平成16年(2004年)	715,777人	499億円
平成17年(2005年)	751,182人	524億円
平成18年(2006年)	771,838人	549億円
平成19年(2007年)	787,502人	543億円
平成20年(2008年)	782,749人	529億円
平成21年(2009年)	732,594人	473億円
平成22年(2010年)	725,635人	457億円
平成23年(2011年)	660,510人	413億円
平成24年(2012年)	713,058人	443億円
平成25年(2013年)	942,964人	580億円

月別入域観光客数・消費額推移

月	平成23年		平成24年		平成25年		比較(平成25年/平成24年)	
	観光客数	消費額	観光客数	消費額	観光客数	消費額	観光客数	消費額
1月	47,049	32.1	38,055	27.2	44,214	30.9	116.2%	113.6%
2月	52,461	35.4	46,749	32.6	50,560	36.3	108.2%	111.3%
3月	56,553	39.2	58,796	42.1	77,866	55.3	132.4%	131.4%
4月	50,530	32.4	72,055	43.5	85,333	51.0	118.4%	117.2%
5月	47,580	27.2	58,831	32.0	71,396	38.1	121.4%	119.1%
6月	55,053	30.8	59,478	34.8	77,609	43.4	130.5%	124.7%
7月	69,367	42.2	82,435	45.8	102,408	59.1	124.2%	129.0%
8月	69,277	42.7	76,152	44.9	114,684	67.0	150.6%	149.2%
9月	64,446	38.6	65,133	38.6	105,388	60.2	161.8%	156.0%
10月	63,038	35.3	55,682	34.0	83,648	51.2	150.2%	150.6%
11月	46,282	30.9	53,144	36.0	67,085	45.7	126.2%	126.9%
12月	38,874	26.3	46,542	31.4	62,773	41.9	134.9%	133.4%
計	660,510	413.1	713,058	442.9	942,964	580.1	132.2%	130.9%

